

“漏れなく”人々に水を届けるために

－日本の漏水探査技術を開発途上国の研修員が体験－

JICAは、9月19日から10月30日まで世界9か国の行政官(計9名)を招聘し、上水道における漏水を防止するための技術や、水道行政手法を習得するための研修「上水道無収水量管理対策」を実施しています。

これは、浜松市、名古屋市、豊橋市の上下水道局等の協力を得て実施する研修です。開発途上国では浄水場からのきれいな水が家庭に届くまでの間に水道管から漏れてしまうことが多く、海外からの研修員は、漏水防止のための技術などを習得します。

特に、10月16日(水)の漏水探査実習(浜松市)での研修においては、研修員はそれまでに習得した知識を基に、漏水箇所を実際に自分たちの手で探査することを通じて、探査技術の習得を確実なものとしていきます。

本研修を通じて、日本の自治体が培った漏水防止に関する技術や知見が、開発途上国の人々の「きれいな水」へのアクセス向上に貢献することが期待されています。

ぜひ取材をご検討ください。(日本語・英語の通訳がつきます。)

取材をご希望の場合は、前日17時までに下記宛にご連絡をお願いいたします。

※参加国：アフガニスタン、エチオピア、ネパール、ナイジェリア、フィリピン、スリランカ、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 研修担当 糸山 大志
 〒453-0872 名古屋市中村区平池町 4-60-7
 TEL : 052-533-0220 FAX : 052-564-3751
 e-mail: Itoyama.Hiroshi@jica.go.jp

■取材候補日時

日	時間	プログラム	場所
10/16(水)	13:00～16:00	漏水探査実習	浜松市上下水道部住吉庁舎 浜松市中区住吉5丁目13-1